

### 3. 貸借対照表の概要

2018年度の資産の部合計[A]は2,681億7,800万円、負債の部合計[B]は432億8,600万円、資産から負債を差し引いた純資産[C]は2,248億9,300万円となり、前年度と比較して15億4,300万円[E]の減少となりました。

#### ◇ 貸借対照表(法人総括)

(単位:千円)

資 産 の 部			
科 目	2018年度末①	2017年度末②	増 減 (①-②)
固 定 資 産	246,424,695	248,391,829	▲1,967,134
有 形 固 定 資 産	135,996,556	140,073,883	▲4,077,327
( 土 地 )	( 22,843,619 )	( 22,843,675 )	( ▲56 )
( 建 物 )	( 83,464,588 )	( 87,790,339 )	( ▲4,325,751 )
( 構 築 物 )	( 4,012,669 )	( 4,326,379 )	( ▲313,710 )
( 教 育 研 究 用 機 器 備 品 )	( 10,321,574 )	( 12,903,219 )	( ▲2,581,645 )
( 管 理 用 機 器 備 品 )	( 2,407,581 )	( 2,397,733 )	( 9,848 )
( 図 書 )	( 9,268,338 )	( 9,256,220 )	( 12,118 )
( 車 輛 )	( 26,587 )	( 35,255 )	( ▲8,668 )
( 建 設 仮 勘 定 )	( 3,651,600 )	( 521,063 )	( 3,130,537 )
特 定 資 産	108,938,763	106,641,297	2,297,466
( 退 職 給 与 引 当 特 定 資 産 )	( 19,585,967 )	( 19,260,902 )	( 325,065 )
( 施 設 備 拡 充 引 当 特 定 資 産 )	( 9,594,318 )	( 8,634,164 )	( 960,154 )
( 減 価 償 却 引 当 特 定 資 産 )	( 38,597,312 )	( 37,724,692 )	( 872,620 )
( 教 育 研 究 振 興 引 当 特 定 資 産 )	( 481,241 )	( 529,980 )	( ▲48,739 )
( こ ま く さ 給 付 奨 学 金 引 当 特 定 資 産 )	( 28,000 )	( 31,000 )	( ▲3,000 )
( 北 里 研 究 所 継 承 事 業 引 当 特 定 資 産 )	( 1,473,963 )	( 1,522,795 )	( ▲48,832 )
( 医 学 部 寄 附 講 座 引 当 特 定 資 産 )	( 35,412 )	( 40,972 )	( ▲5,560 )
( 生 命 研 究 寄 附 講 座 引 当 特 定 資 産 )	( 60,785 )	( 102,629 )	( ▲41,844 )
( 医 療 系 研 究 科 寄 附 講 座 引 当 特 定 資 産 )	( 2,937 )	( 0 )	( 2,937 )
( 感 染 制 御 及 び 感 染 症 研 究 教 育 助 成 引 当 特 定 資 産 )	( 60,000 )	( 70,000 )	( ▲10,000 )
( 感 染 制 御 等 研 究 ・ 教 育 組 織 運 営 費 引 当 特 定 資 産 )	( 83,011 )	( 143,864 )	( ▲60,853 )
( 感 染 制 御 等 研 究 ・ 教 育 そ の 他 事 業 引 当 特 定 資 産 )	( 60,000 )	( 70,000 )	( ▲10,000 )
( 教 育 研 究 戦 略 資 金 引 当 特 定 資 産 )	( 17,945,775 )	( 17,409,933 )	( 535,842 )
( 生 命 研 究 ・ 感 染 制 御 科 学 府 運 営 事 業 引 当 特 定 資 産 )	( 370,751 )	( 470,751 )	( ▲100,000 )
( 北 里 柴 三 郎 記 念 室 運 営 事 業 引 当 特 定 資 産 )	( 371,862 )	( 441,686 )	( ▲69,824 )
( 大 村 賞 引 当 特 定 資 産 )	( 8,000 )	( 8,500 )	( ▲500 )
( 第 2 号 基 本 金 引 当 資 産 )	( 9,476,923 )	( 9,476,923 )	( 0 )
( 第 3 号 基 本 金 引 当 資 産 )	( 10,702,506 )	( 10,702,506 )	( 0 )
そ の 他 の 固 定 資 産	1,489,376	1,676,649	▲187,273
( 電 話 加 入 権 )	( 34,477 )	( 34,477 )	( 0 )
( 施 設 利 用 権 )	( 17,883 )	( 21,082 )	( ▲3,199 )
( ソ フ ト ウ ェ ア )	( 73,958 )	( 270,984 )	( ▲197,026 )
( 有 価 証 券 )	( 104,575 )	( 104,575 )	( 0 )
( 収 益 事 業 元 入 金 )	( 999,898 )	( 999,898 )	( 0 )
( 長 期 貸 付 金 )	( 257,839 )	( 244,887 )	( 12,952 )
( 差 入 保 証 金 )	( 746 )	( 746 )	( 0 )
流 動 資 産	21,753,492	20,611,009	1,142,483
( 現 金 預 金 )	( 6,643,000 )	( 6,643,000 )	( 0 )
( 未 収 入 金 )	( 13,866,144 )	( 12,777,273 )	( 1,088,871 )
( 貯 蔵 品 )	( 607,413 )	( 522,837 )	( 84,576 )
( 短 期 貸 付 金 )	( 183,661 )	( 189,586 )	( ▲5,925 )
( そ の 他 )	( 453,274 )	( 478,313 )	( ▲25,039 )
資 産 の 部 合 計 [ A ]	268,178,187	269,002,838	▲824,651

負債の部				
科目	2018年度末①	2017年度末②	増減(①-②)	
固定負債	<b>26,367,007</b>	26,960,956	▲593,949	
(長期借入金)	( <b>6,666,600</b> )	(7,522,150)	(▲855,550)	
(長期未払金)	( <b>97,915</b> )	(161,396)	(▲63,481)	
(退職給与引当金)	( <b>19,585,966</b> )	(19,260,902)	(325,064)	
(預り保証金)	( <b>16,526</b> )	(16,508)	(18)	
流動負債	<b>16,918,670</b>	15,606,370	1,312,300	
(短期借入金)	( <b>855,550</b> )	(1,041,550)	(▲186,000)	
(未払金)	( <b>10,767,517</b> )	(9,404,493)	(1,363,024)	
(前受金)	( <b>3,783,092</b> )	(3,746,671)	(36,421)	
(預り金)	( <b>975,520</b> )	(852,791)	(122,729)	
(収益事業預り金)	( <b>536,991</b> )	(560,865)	(▲23,874)	
負債の部合計 [B]	<b>43,285,677</b>	42,567,326	718,351	
純資産の部				
科目	2018年度末①	2017年度末②	増減(①-②)	
基本金	<b>254,317,993</b>	254,157,334	160,659	
(第1号基本金)	( <b>227,495,564</b> )	(227,334,905)	(160,659)	
(第2号基本金)	( <b>9,476,923</b> )	(9,476,923)	(0)	
(第3号基本金)	( <b>10,702,506</b> )	(10,702,506)	(0)	
(第4号基本金)	( <b>6,643,000</b> )	(6,643,000)	(0)	
繰越収支差額	<b>▲29,425,483</b>	▲27,721,822	▲1,703,661	
(翌年度繰越収支差額)	<b>▲29,425,483</b>	▲27,721,822	▲1,703,661	
純資産の部合計 [C]	<b>224,892,510</b>	226,435,512	▲1,543,002	
負債及び純資産の部合計 [D]=[B]+[C]	<b>268,178,187</b>	269,002,838	▲824,651	

← E

(注) 1. 資産・負債等の残高は千円未満四捨五入したものである。

各科目の主な内容は次のとおりです。

【資産の部】

1)有形固定資産

大学病院やA号館に係る工事関連の建設仮勘定の増加もありましたが、建物・教育研究用機器備品において、主に薬学部Y2・Y3号館の除却などによる減少があり、有形固定資産総額は1,359億9,700万円となりました。

2)特定資産

施設設備拡充引当特定資産が9億6,000万円増加、減価償却引当特定資産が8億7,300万円増加、教育研究戦略資金引当特定資産が5億3,600万円増加したことなどにより、全体で22億9,700万円増加し、特定資産総額は1,089億3,900万円となりました。

3)その他の固定資産

ソフトウェアが1億9,700万円減少したことなどにより、全体で1億8,700万円減少し、その他の固定資産総額は14億8,900万円となりました。

【負債の部】

長期借入金が8億5,600万円減少したことなどにより固定負債が5億9,400万円減少。未払金が13億6,300万円増加したことなどにより流動負債が13億1,200万円増加、全体で7億1,800万円増加し、負債の部合計は432億8,600万円となりました。

【純資産の部】

第1号基本金への組入れが1億6,100万円増加しましたが、全体で15億4,300万円減少したため、純資産の部合計は2,248億9,300万円となりました。

